

K I M A I

医学生と香川民医連をつなぐ情報誌

【今号の記事】中四地協 医系学生のつどい2015開催について / 香川県における離島医療 / 寺澤秀一医師講演会報告 / 研修医日記(寺川依里医師)

2015
Spring
For free

中四地協 医系学生のつどい2015開催について

民医連中四地協では、医師や看護師などから話を聞いたり、地域に出て患者さんの話を聞く中で、医療や介護・社会について学ぶ「民医連の医療と研修を考える医系学生のつどい（中四つどい）」を年一回開催しています。

11/3に第一回、12/28に第二回実行委員会が開催されたので報告します。

毎年初夏の季節に中四つどいを開催しています。その企画や準備のために、主に学生によって組織される実行委員会が開催されています。第一回は学生7名、第二回は12名の学生が参加しました（両日とも岡山開催）。この委員会の中では、「本番の学習テーマを何にするか」「どこで開催す

るか」などの企画相談をしたり、各県・個人でどのような学習をしているか等、さまざまな交流をしています。委員会に参加するだけでも学習ができて、学習のモチベーションが上がるようです。

2015年のつどいの学習テーマは話し合いの結果「地域を守る救急医療」に決定しました。5月～6月に広島で開催する予定となっています。例年、講師を招いて講演会を開きその後はグループディスカッションをしています。夜は交流会もあり、中四国の医・看・薬・歯学生など多彩な医系学生と交流できる貴重な場となっています。中四つどいおよび実行委員会は医系学生なら誰でも参加可能です。お気軽にお問い合わせください。（学生担当 中田）



2014. 11. 3 第一回実行委員会の様子



昨年中四つどい グループディスカッションの様子

香川県における 離島医療

香川県の離島振興法に基づく離島振興対策実施地域は3地域（直島諸島、塩飽諸島、伊吹島）あり、その人口は2005年～2010年までの5年間で8,044人から7,041人へと12.5%も減っている。また2010年の県内離島の高齢化率は43%と県全体よりも17.2%も高い。



香川県 離島見取り図

一方で「瀬戸内国際芸術祭」を契機として、新規産業の立ち上げや交流イベントの開催により、地域の活性化が進んでいる。

医療分野においては、診療所のない島は有人21島のうち9島ある。直島諸島で3島、塩飽諸島で6島存在しており、診療船を使用した巡回診療が行われている。救急患者の輸送については、救急患者輸送艇や民間船舶の借り上げにより行われている。

また診療所のある島においても、その維持・確保が課題である。県内外の医師の就業相談や医学生に対する修学資金の貸与制度の運用などによる医師



伊吹島 上空写真

例：伊吹島 人口590人（2010年）

医療施設は「国民健康保険伊吹診療所」の1か所
常勤医師は2004年末に退職後は配置されておらず、本土からの非常勤医師9名の派遣により、週5日及び第2土曜日の外来診療を常勤看護師3名と行っている。高度医療や専門医療を必要とする場合は本土で受診（航路賃半額）。救急医療も本土へ搬送。（借り上げ船、費用は補助）

の確保や病床確保等により、必要な医療が確保されるよう取り組まれているが、様々な困難を抱えている。

先日小豆島に行く機会があり、小豆島の住民の方とお話したが、香川県の島の中でも最も大きく上記の離島振興法の実施地域に含まれていない小豆島においても、医師不足等により救急時の対応などが危機的状況だと言っておられた。

2015年度の中四つどいは「地域を守る救急医療」をテーマに実行委員会で準備をすすめている。香川は日本一面積が小さい県だが案外自分の住む県の救急医療の実態について知らない人も多いと思う。この機会に香川県内の島を訪れ、島の自然や文化、生活を知ると共に救急医療について一緒に学習しましょう。（学生担当 小池）

参考文献「香川県離島振興計画」香川県

中四国研修病院合同
寺澤秀一医師講演「寺澤流
キャリアアップのすすめ」
—中四国医学生41名参加—

紅葉がまぶしい11月29日（土）広島大学医学部キャンパスにて、中四国にある11の民医連臨床研修病院合同による講演会が開催され41名の医学生が参加しました。

講師は福井大学医学部地域医療推進講座教授の寺澤秀一医師です。寺澤医師は救急のスペシャリストで特に研修医は必ず購入すると言われる「研修医当直御法度」（三輪書店）シリーズの著者として有名です。

寺澤医師の講演では、有名な病院や先生の下で研修したら多くの事が学べると思うかもしれないが、狭い分野だけしかできなくなる危険性がある事。むしろ小さな病院で様々な制約の下、あれもできないこれもできない状態で患者さんと向き合った時にどう対応するかで問題解決能力が身につくことなどを、時折ユーモアを交えながら分かりやすく話してくれました。

講演のあとは研修医による研修報告。その後、各研修病院の研修内容についての紹介がありました。

参加した医学生からは「良い医師になるためには真面目に勉強しなければならないと思っていたが、学生時代に人間力をつけるためにも今日学んだことを実践していきたいと思いました」「医師としての考え方、生き方について考えさせられるいい機会でした」などの感想が出されました。

（学生担当 森）



寺澤秀一医師 講演のようす



臨床研修病院説明のようす

香川医療系学生のつどい

学んで遊んで交流!! バーベキューあり

参加費無料
送迎あり

2015年

3月22日(日) 1日目: PM開始
23日(月) 2日目: 12時開演

国営讃岐まんのう公園



香川県内外大学の医学部・看護学部・薬学部生が集い、学習交流とお楽しみ企画をします！

学習テーマ

『誰のためのどんな医療者になるか』

問い合わせ先: heiwahp@gmail.com

研修医日記

★第33回★

皆さん、あけましておめでとうございます。2015年もどうぞよろしくお祈りします。

さて、年も明け受験生にとっては重要な時期にさしかかっていると思います。今までやってこられた成果を十分に発揮するために、体調管理に是非とも気をつけてほしいと思います。

☆10月は産婦人科研修 (高松赤十字病院にて)

10月に入りいよいよ研修も終盤に差し掛かってきました。産婦人科では、お産がこれほど大変で、しかし感動的なものなのだというのを改めて実感しました。さらに、母子ともに健康で無事に産が終えられるということが、実はそんなに簡単なことではないという怖さも知りました。

受け持ち患者さんの中に、“不育症”で何年も治療を続けている方がおられました。今回ようやく産まれてくるわが子を楽しみに待っている反面、ご自身の体調が子供に与える影響を心配される様子もあり、出産前後での患者さんの心理状態は楽しみと不安要素とが入り混じっていることを知りました。けれど、患者さんと話していく中で「今回の妊娠には自分以上に周りの方が一緒になって頑張ってくれているので、その気持ちに伝えたいです」という言葉がありました。私は一ヶ月しか関わることが出来ませんでしたが、研修終了後その方が無事に産まれ母子ともに順調だと聞いてとても安心しました。出産に関して大きな不安があったと思いますが、それを乗り越えようとする勇気に胸を打たれた症例で、その方に会えて本当に良かったと思っています。

☆11月は精神科研修 (三光病院にて)

ここでは、統合失調症や気分障害など様々な精神疾患を抱えながら生活をされている患者さんに出会いました。また三光病院では、特にアルコール依存症に対する治療に力を入れていて、毎週2回“断酒会”が行



高松平和病院
二年目研修医
寺川依里
(香川大卒、
高知県出身)

われています。“断酒会”とは、患者と家族に焦点を当てそれぞれの体験談を話す会です。断酒への道は断酒会に出席することから始まります。最初、どういう会なのだろうという気持ちで私は参加し始めました。その中で特に、家族の体験談を聞くとアルコール問題が本人以上に家族を苦しめ、その後の人生を壮絶なものにしてしまいかねない、ということがわかってきたのです。そして簡単に断酒というものが出来るわけではなく、参加し続けることでしか断酒は決して出来ないということを教わりました。参加されている方の中にはもう何十年も断酒会に参加され、今までその当時の自分の姿を思い出しながら、一日断酒を継続されています。アルコールは何年やめていても一度の飲酒でまた依存に陥ってしまいます。アルコールの怖さは今まで考えたことがなかったので、その現実を知ることが出来たのは貴重な経験でした。

☆12月はホスピス・緩和ケア研修 (高松平和病院にて)

高松平和病院に戻り研修に選ばせてもらったのは、ホスピス・緩和ケアでした。ここでの研修で特に印象的だったのは、今まで回ってきたどの科とも異なる“その方の人生の最期をどのように迎えるか”ということ、ご本人・家族とその都度話し合いながら決めていくということです。あくまでも患者さん本人の想いと決断に援助者として関わっていきます。私は研修中、会話記録というものに取り組みながら患者さんとお話させて頂きました。病気による身体的な痛みの他、精神的・スピリチュアルな痛みに対して、私自身の意識の志向性がそこに向いているのかどうか非常に大切です。そしてそれは、患者さんとの信頼関係なしにはできないことだと改めて感じました。言葉では患者さんに寄り添うと簡単に言えてしまいが、本当に出来ているのかということを考えさせられた毎日でした。



発行：香川民主医療機関連合会

お問い合わせは下記まで

●香川民主医療機関連合会

(担当：小池・森・中田)

〒760-0073 高松市栗林町1-6-4

TEL:087-836-9375

FAX:087-836-9376

●みき事務所

〒761-0701

木田郡三木町池戸1538-1森ハイツ1F

TEL&FAX:087-891-0521

問い合わせは heiwahp@gmail.com まで



●「医学生のパージ」を開設しています

<http://t-heiwa.com/igakusei>

香川民医連 医学生のパージ

検索

●Facebookも更新中です

香川民医連 医学生担当

検索

●ご意見・ご感想は同封のハガキでお寄せください

●香川民医連は、個人情報保護法に基づき、情報を管理運用しています